

かかりつけ医と病院を結ぶ

東中病診連携室だより



平成16年 1月 No, 4

東北中央病院ホ - ムペ - ジ <http://www.tohoku-ctr-hsp.com/>

東北中央病院長 堀川秀男

《整形外科における鏡視下手術について》

整形外科治療において関節鏡視下治療は、手術侵襲が少なく早期に社会復帰が可能だけでなく、直視手術では不可能だった手技が可能になっております。



膝関節障害に対する鏡視下手術は、滑膜・靭帯・半月板、さらに軟骨修復・再生へと飛躍的に進歩しており、当科で最も力を入れている分野です。軟骨損傷に対する「ドリリング」は、以前から繊維性軟骨による軟骨の修復を期待して行われておりますが、最近では

限局された軟骨欠損であれば自家骨軟骨移植法も行われております。加齢による変形性膝関節症(軟骨がすり減った膝)で、関節内注射を行っても症状の著しい改善が得られない場合に、本手技の適応と考えられます。

また、スポーツ外傷による半月板損傷及び前十字靭帯・後十字靭帯損傷に対する鏡視下手術は、最少侵襲で早期のスポーツ復帰を可能としております。

その他の整形外科一般も対応しておりますので、お気軽に当科をご利用ください。



(山口 修 部長)



(井上勇人 医長)



(依知川 潔 医長)

(受付時間)

午前(毎日): 8時00分~11時30分
午後 : 月曜日・水曜日・金曜日
16時00分~16時30分

東北中央病院 病診連携室

電話(フリーダイヤル)0120-703-995

FAX(フリーダイヤル)0120-168-990